

平成25年度教育推進プランからの主な取組

子どもたちの「生きる力」の育成

- 1 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進**
 - 学校サポートチーム指導員を配置し、児童・生徒を支援します。(予算額538千円)
- 2 確かな学力の定着**
 - 三中学校区をモデル地区に、小中一貫教育の研究を推進し、実践します。(予算額942千円)
 - 小・中学校の図書館に専任の司書を配置し、読書活動支援や、授業支援・調べ学習支援を行います。(予算額6,480千円)
 - 全小・中学校の学校図書館の蔵書管理を電算化し、蔵書を検索しやすくして、児童・生徒の利便性の向上を図ります。(予算額小学校13,728千円、中学校5,532千円)
 - 小学校5・6年生と中学校全学年の理科授業で、観察・実験等を支援する「理科支援員」を配置します。(予算額2,361千円)
- 3 社会的自立や国際性を備えた人間育成**
 - 日本の伝統や文化を理解し、継承・発展できるよう日本の伝統・文化理解教育を推進します。(予算額200千円)

生涯学習社会の推進

- 1 あらゆる機会・場所で自ら学び、社会参加と健康づくりができる環境の整備・充実**
 - さくら会館の外壁改良工事を行います。(予算額32,373千円)
 - わかたけ会館の施設改良のため、平成25年度に設計を行い、平成26年度に工事を予定しています。(予算額14,029千円)
 - 市営プールに指定管理者制度を導入し、市民サービスを充実します。(予算額17,404千円)
 - 体育施設の施設空き情報、予約システムを全体育施設で行えるようにします。(予算額8,444千円)
- 2 連携・協力のコーディネーターの育成**
 - 「学び・体験・交流」の場である「ふっさっ子の広場事業」のサポーターを拡充します。

信頼される学校づくりの推進

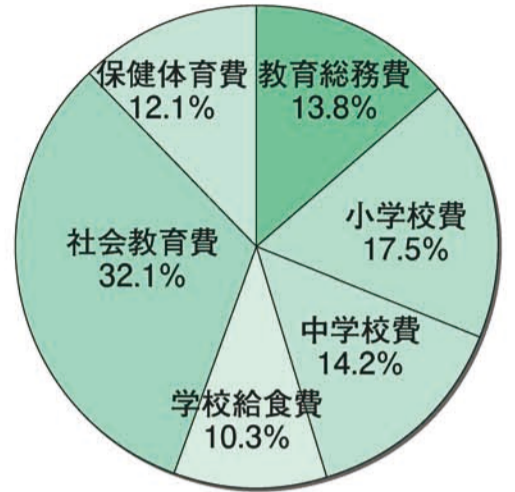
- 1 地域に根付いた開かれた学校づくりの推進**
 - 学校、家庭、地域が一体となって学校を支援する学校支援地域組織事業を推進します。(予算額3,610千円)
- 2 教職員の資質・能力の向上**
 - 校長、副校長及び主幹教諭、教員研修等を実施します。
- 3 教育環境の整備・充実**
 - 災害時に、児童等が帰宅が困難となった場合に、食糧、水、毛布を備蓄します。(予算額 小学校3,546千円、中学校1,737千円)
 - 学校の校舎外壁等調査を小学校2校、中学校1校で行います。(予算額小学校3,570千円、中学校1,722千円)
 - 地震時に落下の恐れのある学校体育館の天井、照明器具等の非構造部材の調査を行います。(予算額 小学校3,627千円、中学校1,037千円)
 - 第六小学校の校庭で、表土の補充と排水設備整備、校庭の一部芝生化をします。(予算額14,398千円)
 - 四小と一中で、校内給水管の更新と、飲料水を水道管から直接給水を受ける方式に変えます。(予算額 小学校15,625千円、中学校10,053千円)
 - 一中で、老朽化した便所の改良を行います。(予算額61,015千円)

地域の教育力の向上

- 1 学校・家庭・地域が連携し、子どもの成長をはぐくむ仕組みづくり**
 - わかざり図書館のリニューアルオープン記念として、講演会を行います。(予算額50千円)
- 2 学社連携・融合の促進**
 - 学校図書館の蔵書管理の電算化により、図書館システムに学校図書館連携システムを導入します。(予算額478千円)
- 3 家庭の教育力の向上**
 - いじめ、不登校、暴力行為などの課題に対応するため、家庭と子どもの支援員等を配置して支援します。(予算額3,990千円)

平成25年度教育費予算 (22億2,741万1千円) と主な事業を紹介します

平成25年度福生市一般会計予算 217億3,000万円が3月の定例市議会にて認定されました。



教育総務費	3億689万5千円	教育委員会とその事務局、小・中学校の教育指導に要する経費
小学校費	3億9,127万7千円	学校の運営、学校施設の整備に要する経費
中学校費	3億1,709万3千円	学校の運営、学校施設の整備、ランチルームの運営に要する経費
学校給食費	2億2,891万4千円	小学校給食の調理及び設備に要する経費
社会教育費	7億1,449万6千円	公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費
保健体育費	2億6,873万6千円	体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

平成25年度 福生市教育委員会の基本的な考え方

平成25年第1回市議会定例会において、平野裕子教育委員長が教育委員会が取り組む施策について基本的な考えを述べました。要旨は次のとおりです。

福生市教育委員会では、取り組むべき施策の方向として教育目標と基本方針を示しております。目標の一つとして、福生市の子どもたちが、「確かな学力」、「豊かな人間性」及び「健康・体力」を基礎とする「生きる力」をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、人材を育成する教育を推進すること、二つとして、市民のだけれども、あらゆる機会、あらゆる場所で学び続けることのできる社会の実現を図るため、生涯学習を振興すること、三つとして、学校・家庭・地域の三者が互いに連携・協力し、市民が主体的に参加する地域全体での教育の向上に取り組む社会を目指すことを掲げております。

学校教育を取り巻く状況と基本的考え方については、新学習指導要領の確実な実施により、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体の育成により知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成と、新しい時代に対応した学校づくりに取り組んでまいります。少人数学級の進行では、中1ギャップ解消の取組を進めてまいりましたが、平成25年度は、中学校第1学年で35人学級のため、教員の加配措置を行います。

不登校や、児童・生徒の抱える様々な問題の解決のため、総合的かつ専門的な支援を行う「福生市学校サポートチーム」を全校で展開してまいります。基本方針一の「子どもたちの生きる力の育成」の観点としては、基礎学力の定着問題では、小・中学校間の連携から義務教育9年間を見通した小中一貫教育化に向けた教科・領域等の実践研究を推進するとともに、文部科学省や東京都の学力調査等の結果をもとに授業改善推進プランを作成し、各学校で学力向上に取り組んでまいります。さらに家庭学習への支援に取り組んでまいります。

特別支援教育では、特別な支援を必要とする児童・生徒一人一人の能力を引き出し、地域の一員として生きていく力を培えるように施策を進めてまいります。この4月には新たに第三中学校に情緒障害等通級指導学級を開設いたしました。さらに、幼児から児童・生徒まで、その家庭的支援を含む特別支援教育にかかる相談、研修、連絡会といった機能を一体的に組織化し所管する「(仮称)特別支援教育センター」の設置を検討してまいります。

また、小・中学校の新たな取組としては、学校図書館の蔵書管理を電算化し、専任の司書を配置し、読書活動の支援、授業支援、調べ学習支援を行います。基本方針の二「信頼される学校づくりの推進」、及び基本方針の四「地域の教育力の向上」の観点からは、学校に対する支援として進めている、「学校支援地域組織」の取組を進めます。これは、コミュニティスクールへの足がかりであり、学校を核としたまちづくりにつながるものと考えています。

教育環境の整備・充実では、小学校で校庭改良と合わせた校庭の一部芝生化の整備をするほか、地震への備えとして、災害時に避難所となる小・中学校の体育館の非構造部材の耐震性の点検を行うとともに、児童・生徒のための食料や防寒具を備蓄し、安全対策の充実、安全教育を推進します。基本方針三「生涯学習社会の推進」では、市民一人一人が生涯を通じてあらゆる機会にあらゆる場所で学習することができる、その成果を生かすことができる生涯学習社会の実現を目指します。主な取組としては、福生市営プールの管理・運営に指定管理者制度を導入し、安全性を優先した市民サービスの向上と効率的な管理・運営、そして経費の節減を図るほか、老朽化した施設の対応としてさくら会館の外壁の改修を行います。

以上、福生市の教育に対する取組を着実に進めてまいります。

問合せ 庶務課・庶務係 ☎551・1930

